



アズママ
AsMama Inc.

<http://asmama.jp>

<報道関係各位>

待望の!!

2010年3月9日
株式会社 AsMama

「育児も、仕事も、“わたし”も大事！」を お互いに 支えあう

会員制 子育て支援・親支援コミュニティ『AsMama(アズママ)』、サイト(プレα版)が先行オープン!

株式会社 AsMama (代表取締役 甲田恵子、以下「当社」)は、子育て支援・親支援のための会員制コミュニティ、『AsMama(アズママ)』のオンライン・コミュニティサイト(<http://asmama.jp/>)をプレα版として、オフライン活動に先駆けて公開いたします。また、同時に、事業者及び個人会員の登録受付を開始いたします。

AsMama は会員制のコミュニティです。会員は、理想の子育てや、働き方、自己実現をかなえるために、他の会員にサポートやサービスを依頼することが出来ます。一方で、サポートやサービスを提供することで収入ややりがいを得ることが出来ます。コミュニティは、安心安全でありながら、会員同士が時空を超えて継続的な関係を育めるよう、SNS 機能やマッチング機能を有するインターネットサイト(オンライン・コミュニティ)と、親も子も、他の会員と実際に出会い、共に考え、学び、親睦を深める交流会やイベントなど(オフライン・コミュニティ活動)を融合させて運営します。AsMama は、誰もが 育児や仕事や自己実現をかなえるために 必要な支援をいつでも得られる環境づくりと、子育て支援・親支援を通じて収入や社会価値を得たい個人や企業、団体等の活動支援を行います。

AsMama の始動については、昨年 11 月 13 日より、ティザーサイトや代表者ブログ等にてお知らせしてまいりましたが、既に複数の事業者から協業やご賛同のお申し出を頂いている他、500 件以上にも及ぶ応援メッセージや期待の声が全国から届いており、多くの方の相互支援コミュニティ AsMama への高い関心がうかがえます。一方で、不安定な社会や経済状況への不安、核家族で頼る人がいない中での育児や復職に対する不安、自分自身のあり方に対する不安などのメッセージも多数寄せられています。

こうした中、4 月から新生活を迎えるにあたり一層の不安を抱える人も多いだろうことを鑑(かんが)み、このタイミングで、ひとりでもの多くの方の生活と心の支えになりたいとの思いから、現段階では機能、デザインともに完全ではないものの、基本機能を実装したプレα版として、オンライン・コミュニティサイトを公開することといたします。サイトの機能やデザインについては、順次、会員の声を聞きながら修正・拡充してまいります。

＝主な機能は以下のとおり＝

- サポート提供者や利用者としてプロフィールや、提供又は利用したいサポートやサービスを登録する機能
- サポート提供者や利用者を地域や条件から検索し、面談申込やサポートの利用、提供を申請する機能
- 地元地域の子育て情報を互いに収集し、共有しあう機能
- リアルな交流会やイベントを自ら開催・告知・集客したり、参加する機能
- 育児や事業活動などを記録し、他の会員とコミュニケーションを図る機能

※個人の登録及び基本利用料(100MB まで)は無料、事業者は月額 3,150 円の基本利用料がかかります。

※サポートやサービスを提供、利用する個人会員は本人写真の登録及び緊急連絡先の登録が必要です。

今後は、AsMama の認知拡大と会員数の増加を図ると共に、各地で子育て支援・親支援に取り組む事業者、団体、行政等とも協調しながら、コミュニティ活動の活性と充実に努めてまいります。交流会やイベントなどのオフライン活動は 4 月以降に本格展開していく予定ですが、これに先駆けたオープニングイベントを 3 月 22 日(月、祝)に横浜市内にて、4 月には大阪市内、中部地域でも開催する予定です。(詳細は近日、発表いたします。)

AsMama は、会員ひとりひとりが思いどおり、理想どおりの「育児や仕事、自己実現をかなえる」ための社会基盤としての役割を担います。この相互に支援しあう社会基盤が充実すれば、誰もがライフスタイルや生活に応じた支援を得て、理想の子育てや働き方、自己実現を追求することが出来、既存の保育環境の問題や、女性やシニアの活用・雇用、孤独児に関する問題など、多くの社会問題を一気に解決する役割をはたすことができると自負しております。

以上

◆◆◆ 本リリースに関するお問い合わせ ◆◆◆

TEL&FAX : 045-263-6433 メール : pr@asmama.jp

株式会社 AsMama (<http://asmama.jp/>)

横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター 6F-A

日本では、結婚や出産を機に、知識や経験を積んだ女性が離職してしまうことが依然として多く、子どもを育てる実に9割の女性が「チャンスがあれば働きたい」と思っているながらも、保育環境の不足などを理由に働けずにいる人が数多くいます。また、子育てについては、子どもがいない時は経済的な負担や子育てに対する支援制度の不足に不安を感じ、子どもが産まれてからは子どもの病気や発育のこと、子どもと過ごす時間や会話が少ないといった日常的なことに悩みを抱える人が多いということが厚生労働省の調査結果により報告されています。

一方、待機児童数が過去最高を記録する中、定員割れを起こす保育園も多数存在していたり、女性の活用やシニアの活用が期待されているが、企業の求人倍率は依然として低い状態が続いていたりなど、需要と供給のアンバランスそのものが社会問題となっていることが見受けられます。

さらに、子どもの生活環境に目を向けると、先進 24 カ国(OECD)の子どもたちの「幸福度」に関する調査では、日本の子どもたち(対象年齢 15 歳)の約 3 人に 1 人が「自分は孤独である」と感じており、これは世界先進国の中でも突出した数値を表す結果となっています。(2007 年 ユニセフ(国連児童基金)発表)

また、子育てに対する考え方やニーズ、親として必要な支援などは、各家庭の経済状況や生活環境、考え方などによって大きく異なるため、プロダクトアウト的な単一サービスやサポートの提供だけでは実態のあらゆるニーズにそぐうことが出来ないことも、当社が行った市場調査の結果により明らかとなりました。

こうした背景から、当社は、幅広い支援提供者と支援利用者を集い、提供者ニーズと利用者ニーズをマッチングさせる環境こそが、まさにそれぞれの理想をかなえる画期的な方法ではないかと考えました。

さらに、そのマッチングが、安心安全で、かつ継続的に持続可能なものであるためには、インターネットを活用して、時間や距離に関係なく情報共有や親睦を図ることができる環境と、リアルな交流会やイベントを通じて、自然な形で実際に出会い、ともに考えたり学んだりする時間を共有しながら、地域や社会全体で人間関係を育んでいく環境の両方が必要だと考えました。

こうした外部の調査結果や当社の独自調査、創業者自身の経験などを総合的に加味して誕生したのが、子育て支援・親支援の相互支援型コミュニティ、AsMama です。

相互支援型コミュニティ AsMama が社会に浸透すれば、幅広い保育のあり方や、働き方が可能になり、親にとっても、子どもにとっても、安心して、理想どおり、思いどおりの生活や生き方が選択できるようになります。

子ども向け、親向けの支援やサービスを提供する事業者は、AsMama の活用によって、「子育てフレンドリー」なイメージづくりやブランディング、ターゲットアプローチによる新規顧客獲得が期待できます。

当社は AsMama の認知向上と会員の増加に努め、子育て支援・親支援の社会基盤確立を目指します。

皆さま方には是非ともご支援、ご協力を賜りたく、何卒宜しくお願いいたします。



<http://asmama.jp>

株式会社 AsMama(アズママ)について

会社設立日 : 2009年11月4日
代表 : 代表取締役 CEO 甲田恵子
本社 : 東京都港区東新橋二丁目10-10
メインオフィス : 神奈川県横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター6F

代表取締役 CEO アズママこと 甲田恵子 (こうだ けいこ) のプロフィール

1975年11月28日生まれ、大阪府枚方市出身。2005年4月5日に長女を出産。一児の母。
1998年3月 フロリダアトランティック大学留学を経て、関西外国語大学外国語学部英米語学科卒。
1998年4月 特殊法人 環境事業団に入団
2000年12月 特殊法人 環境事業団を退団
2000年12月 ニフティ株式会社に入社
2007年10月 ニフティ株式会社を退社
2007年10月 ngi group 株式会社に入社
2009年3月 ngi group 株式会社を退社 (退社時役職: 広報室長)
2009年11月 株式会社 AsMama を創業、現在に至る。

- * 株式会社 AsMama は、結婚、出産、子育て、、、とライフステージが変わっても、「仕事も育児も“わたし”も大事にしたい!!」と願う誰もが、その思いを実現できる社会づくりや、地域や社会が一体となって親や子どもの能力を開花させることができる環境づくりに取り組みたいと、女性創業者 甲田恵子が起業メンバーとなる有志を募り、2009年11月4日に創業しました。
- * 有志の起業メンバーほとんどは、インターネット上の掲示板や SNS サイトに創業者が投稿した事業構想に賛同し、結集したメンバーです。在住地域は関東、中部、近畿、九州に点在し、企業経営者、企業に勤める者、フリーで活躍する者、専業主婦など様々で、男女比も約半分ずつになります。関東圏在住のメンバーは週に一度、創業者自宅等に結集するものの、今日の業務のほとんどがメールや Skype などを活用したバーチャルな環境で遂行しています。こうした起業は全国でも珍しいスタイルだと思われます。

以上